

# 加東フィルハーモニー管弦楽団 ハートフルコンサート

日時 3月4日(日) 14:00開演  
場所 東条文化会館(全席自由)  
入場料 無料  
演奏曲 ・南国のパラ ・七つの子  
・トロイメライ ほか  
ゲスト Duemila(トーンチャイム)  
小学生から入場いただけます。



本番を前に練習に励むメンバーたち



各パートがお互いを高めあう「有機的な演奏」。加東フィルは、まるで一つの巨大な楽器のよう。

## 加東フィルを身近で聞いてみませんか?

地域のイベントや学校・施設などに、加東フィルが出演します。一緒にクラシックを楽しんでみませんか。

出演する人数や楽器は、調整のうえ、決定させていただきます。



学校公演のようす(社小学校)

問い合わせ

加東文化振興財団  
(やしる国際学習塾)

☎42-7700

<http://www.k-bunka.jp/>

演奏会では、アマチュアとして演奏を楽しんでいるようすを、音楽に乗せてみなさんにお届けできれば嬉しいですね。ぜひ、お越しください。一緒に楽しみましょう。

**客席との一体感を大切に**  
加東フィルの一番の魅力、それは親しみやすさです。一般的には「堅苦しい・分かりにくい」と思われがちなクラシックを、より多くの方々に楽しんでもらうため、コンサートでは、誰もが楽しめるクラシックの名曲を中心に演奏されます。

もちろん、難易度の高い曲や本格的な交響曲など、オーケストラとして挑戦したい楽曲はたくさんあります。しかし、それよりも、観客にコンサートを楽しんでもら

**オーケストラのあるまち**  
「自分のまちのオーケストラに参加できる」「家の近くで気軽に演奏会を楽しめる」。これらは、「オーケストラのあるまち加東市」の大きな魅力です。これからも、加東フィルを地域の大きな財産として、育てていきたいと思います。

そして、レコードやCDでは決して味わえない生演奏の醍醐味を、存分に満喫してほしいかががではないでしょうか。



加東フィル団長 服部 正徳 さん

加東フィルには現在、小学生から50歳代まで、幅広い年代のメンバーが所属しています。年齢や職業、演奏キャリアはさまざまですが、オーケストラが好きなのばかり、情熱を持って練習に励んでいます。

この小さなまちでオーケストラが存続でき、演奏する機会があるのも、地域の方々の支えがあつてのことと感謝しています。



加東フィル設立10周年記念事業 ベートーヴェン「第9」特別演奏会

# 加東フィルハーモニー管弦楽団 まちに響くオーケストラの音色

「地域に愛される、地域に根ざしたオーケストラ」をモットーに活動されている加東フィルハーモニー管弦楽団(加東フィル)。前身である「やしるフィルハーモニー管弦楽団」が平成12年に設立されて以来、今年で12年目を迎えました。

加東市の人口規模(約4万人)でオーケストラがある自治体は全国でも珍しく、まちのシンボルの一つにもなっています。

現在、メンバーは約50人。小学生から社会人まで幅広い年代の方々が、音楽によってつながり、日々練習に励まれています。

主な活動は、毎年秋に開催する定期演奏会のほか、加東混声合唱団定期演奏会への賛助出演、金婚式や敬老会、加東音楽めぐりなどの行事への出演です。

また、地域のサロンや市内小学校で演奏会を催されるなど、地域に根ざした演奏活動を行われています。

## 始まりは まちのバイオリン教室

今では、地域を代表するオーケストラとなった加東フィルですが、実は、そのスタート

は、小さなバイオリン教室だったのです。

きっかけは、平成3年に旧社町が建設した「やしる国際学習塾」です。その館内に設けられたL・O・Cホールは、音響効果に優れており、特にクラシック演奏に適していました。その舞台で「地元の人々による演奏」を実現させるため、地域住民によるオーケストラと合唱団、箏曲教室が設立されることになりました。

しかし、当時、町内だけでは、オーケストラを編成できるだけの演奏者を集めることができませんでした。そこで、将来のオーケストラ設立を見据え、演奏者育成を目的として、同年、社町バイオリン教



社町バイオリン教室演奏会(平成4年)

室(現加東市バイオリン教室)がスタートしました。

最初の生徒は、小学校3・4年生の子どもたち20人。そのほとんどが未経験で、教室で一からバイオリンを習われました。

その後、教室から巣立ったメンバーを中心として、平成6年に「やしるストリングオーケストラ」、平成12年には「管楽器奏者」を加えて「やしるフィルハーモニー管弦楽団」となり、平成18年、合併により加東フィルが誕生しました。